

2026年第3回中京競馬特別レース名解説

<第1日>

○大府特別

大府（おおぶ）は、名古屋市の南部に隣接する市。愛知用水を利用した農業が盛んで、巨峰やシャインマスカットなどぶどうの産地として有名。また、スポーツのまちとして地域スポーツに力を入れている。

○伊賀ステーキス

伊賀（いが）は、旧国名のひとつで、三重県西部の市。伊賀上野城の城下町として栄え、碁盤目状に整備された町並みは小京都に数えられている。また、江戸時代前期に活躍し、「おくのほそ道」などで知られる松尾芭蕉の出生地や、伊賀流忍者発祥の地として知られている。

○瀬戸特別

瀬戸（せと）は、愛知県北部の市。良質の陶土を産し、日本有数の陶磁器の産地として有名。陶磁器の代名詞である「せともの」の由来となっている。

<第2日>

○有松特別

有松（ありまつ）は、名古屋市緑区の地名。同地の名産品の有松・鳴海絞は、東海道を往来する旅客の土産品として珍重され、1975年には県下第1号の伝統的工芸品に指定されている。

○名古屋城ステーキス

名古屋城（なごやじょう）は、名古屋市にある城。1609年に徳川家康の命で諸大名が築城し、完成後は尾張徳川家の居城となった。シンボルの「金の鯨（しゃちほこ）」が輝く天守閣は、現在も名古屋の顔となっている。2018年にはかつての国宝であった本丸御殿が復元されるなど、近年一層注目が高まっている。

○豊川特別

豊川（とよかわ）は、愛知県南東部の市。市内東部には、愛知県北東部の鷹ノ巣山に源を発する豊川（とよがわ）が流れる。商売繁盛の神として知られる豊川稲荷や、十返舎一九の「東海道中膝栗毛」にも登場する御油（ごゆ）のマツ並木などが有名。

＜第3日＞

○清洲特別

清洲（きよす）は、愛知県西部、清須市の町。戦国大名・織田氏勃興の地であり、清洲城は織田信長が居城としたことで知られている。現在は、名古屋市の衛星都市となっている。

○長篠ステークス

長篠（ながしの）は、愛知県新城市の地名。1575年に織田信長と徳川家康の連合軍が、武田勝頼と戦った「長篠の戦い」の古戦場として知られている。

○桑名特別

桑名（くわな）は、三重県北東部の市。江戸時代から東海道五十三次の42番目の宿場町として栄えた。熱田の宮宿からの舟着き場である七里の渡（しちりのわたし）跡や六華苑、多度大社などの名勝のほか、レジャー施設であるナガシマリゾートも有名。また、例年8月第一日曜日とその前日に行われる桑名石取祭（いしどりまつり）は、豪華絢爛な祭車が町中を練り歩き、鉦（かね）や太鼓が絶え間なく鳴り響く「日本一やかましい祭り」として知られ、ユネスコ無形文化遺産に登録されている。

＜第4日＞

○白川郷ステークス

白川郷（しらかわごう）は、岐阜県北西部、大野郡の庄川上流域の一帯。同地特有の茅葺家屋は、日本の木造家屋の中でも特徴的かつ合理的な造りをしていることなどから、富山県南砺市の五箇山とともに、「合掌造り集落」としてユネスコの世界文化遺産に登録されている。

○中京2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、2025年に創設された重賞競走。小倉競馬場で実施されていた2歳馬の重賞競走『小倉2歳ステークス』が中京競馬場へ移設されたことを機に、実施距離を芝1200mから1400mに延伸した。

○熊野特別

熊野（くまの）は、三重県南部の熊野灘に面する市。吉野熊野国立公園内に位置し、地域は豊かな自然と温暖な気候に恵まれている。2004年には、紀伊半島南部にある熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）と伊勢や大阪、和歌山、高野および吉野とを結ぶ熊野古道が、「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された。